

「大阪における今後の住宅まちづくり政策のあり方について」答申（素案）の概要

社会情勢の変化等

●大阪・関西万博の開催 ●SDG s 達成への貢献 ●多様な生活ニーズ ●新しい生活様式、新たな日常 ●頻発する自然災害

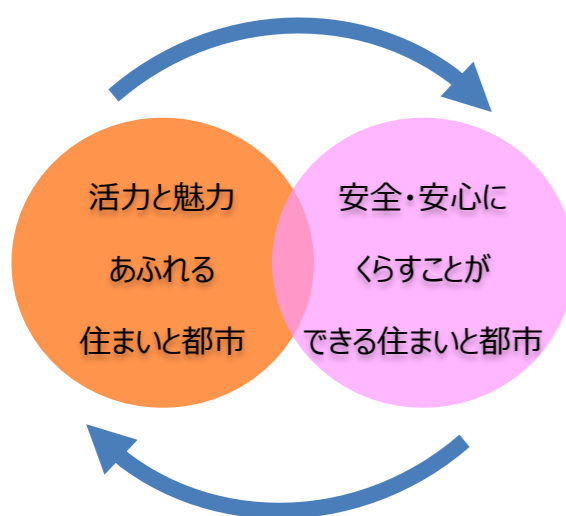
基本目標

多様な人々がいきいきと暮らし、誰もが住みたい、訪れたいと感じる、居住魅力あふれる都市の実現

政策の方向性

展開の方向性

好循環を生み出す政策展開



施策展開の視点

① 多様性（ダイバーシティ）

多様化するニーズへのきめ細やかな対応

② 関係者連携（コ・クリエーション）

様々な分野や、公民の連携による事業効果の最大化

③ 施策の舞台（ステージ）

大阪がもつ多様なストック・ポテンシャルの活用

施策の方向性

1. くらしの質を高める

「新たな日常」に対応し、大阪に住まう人々が、いきいきと快適に暮らすことができる住まいやまちを実現

新たなライフスタイルを支える
身近なまちづくり健康でいきいきとくらす
住まい・まちづくり多様なニーズに対応した
良質なストック形成

重点取組

- スマートシティ等による個性あるまちづくりの推進
- 空家等を活用したまちづくりの推進
- 新たな日常に対応した質の高い住まいの普及
- 分譲マンションの管理適正化・再生推進

2. 都市の魅力を育む

大阪・関西万博やその後も見据え、国内外から多様な人々が住まい、訪れる都市を実現

大阪を象徴する都市空間の創造

世界に誇れる景観づくり

ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

重点取組

- 都心部の象徴的なエリアのまちづくり
- ユニバーサルデザインのまちづくりの推進
- 広域的な都市間連携等による地域価値の創造

3. 安全を支える

大規模な地震や、台風、集中豪雨による被害が最小限に抑えられ、人命が守られる住まいとまちを実現

災害に強い都市の形成

住宅・建築物の安全性の確保

危機事象への備え

重点取組

- 密集市街地の整備
- 民間住宅・建築物の耐震化

4. 安心のくらしをつくる

子どもから高齢者、障がい者、外国人をはじめ、大阪に新たに住む人、住み続ける人などが安心・快適に暮らすことができる住まいと都市を実現

誰もがくらしやすい環境整備

多様な住まいを選択できる
市場環境整備

健全な住宅関連産業の育成

重点取組

- 民間賃貸住宅を活用した居住の安定確保
- 公的賃貸住宅ストックの有効活用

実効性を持った計画の推進

- 各主体の役割と連携
- 施策の適切な進行管理